

令和7年度 第1回太田地域協議会会議録

令和7年5月20日

太田地域協議会

令和7年度 第1回太田地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ、職員紹介	2
■新任委員への委嘱状交付	3
■会議録署名委員の指名	4
■報告	4
(1) 令和6年度地域枠予算活用事業の申請状況および最終実績 について	
(2) 令和7年度地域枠予算活用事業の申請状況について	
■説明	8
(1) 第二次大仙市学校規模適正化推進計画（素案）について	
■その他	12
■閉会	16
■署名	17

令和7年度 第1回太田地域協議会 会議録

■日 時：令和7年5月20日 午前10時00分

■会 場：太田支所 2階「会議室」

■出席委員：8名

熊谷 隆雄、高橋 英子、佐藤 隆康、鈴木 昌人、
高橋 伸、藤澤 耕太郎、小松 聖子、鈴木 美子

■欠席委員：4名

長澤 宏明、清水川 幹弘、高橋 美智子、安達 美保

■出席職員：11名

田中 黙男（支所長）	高橋 正人（市民サービス課長）
高橋 勇気（農林建設課長）	佐藤 彰（中仙・太田建設水道事務所長）
太田 敬（公民館長）	谷口 藤美（農業振興情報センター所長）
本間 香（地域活性化推進室主査）	板谷 予理子（地域活性化推進室主査）
※次第7「説明」のため出席	
小松 大（教育委員会事務局次長兼教育総務課長）	
佐々木 翔馬（教育総務課副主幹）	佐々木 顕彦（教育総務課副主幹）

■次 第：

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 支所長あいさつ、職員紹介
4. 新任委員への委嘱状交付
5. 会議録署名委員の指名
6. 報告
 - (1) 令和6年度地域枠予算活用事業の申請状況および最終実績について
 - (2) 令和7年度地域枠予算活用事業の申請状況について
7. 説明
 - (1) 第二次大仙市学校規模適正化推進計画（素案）について
8. その他
9. 閉会

(午前10時00分 開会)

○田中支所長（以下「支所長」と表記）

定刻となりましたので、地域協議会を始めさせていただきます。

会議を始めます前に、本日は、定数の半数以上の委員が出席しておりますので、会議が成立していることをご報告いたします。

なお、会議録作成のため発言の際はマイクをご使用くださいますようお願いいたします。

それでは、会議の進行を規定により会長にお願いいたします。

○熊谷会長（以下「会長」と表記）

それでは私の方からごあいさつ申し上げます。

本日は令和7年度の第1回太田地域協議会にご参加いただきましてありがとうございます。

今年度第1回目ということで、今回は「報告」で令和6年度の最終の実績報告と令和7年度の新しい申請が1件出ておりますので、そちらの方のご検討をいただくことになりますけれども、新しい年度が動き出しましたので、今年も色々変わってくると思います。地域の様々な活動に皆さん関わっていらっしゃると思いますので、今年も1年間よろしくお願ひしたいと思います。

特に今回は、後ほど学校再編のお話をいただくことになりますので、皆様も大変関心のあるところだと思います。

今日もよろしくお願ひいたします。私の方からは以上です。

それでは、令和7年度第1回太田地域協議会を開会したいと思います。

先ほどお話しいたしましたが、次第の方の7番「説明」のところで、「第二次大仙市学校規模適正化推進計画(素案)」につきまして説明がございます。時間配分といたしましては、10時半くらいからそちらの方のお話ができればと思っておりますので、会議のスムーズな進行にご協力をお願いいたします。

最初に開会にあたりまして、田中支所長からごあいさつをいただきます。よろしくお願ひいたします。

○支所長

この4月より太田支所長を務めております田中勲男と申します。どうぞよろしくお願ひします。

地域協議会委員の皆さんには、大変お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。今年度は、新たに1名の委員を迎えての協議会となりますのでよろしくお願ひします。

本日の案件ですが、令和6年度の「地域枠予算活用事業の申請状況及び最終実績について」と「令和7年度地域枠予算活用事業の申請状況について」の報告となります。ご審議いただき、ご意見等を頂戴したいと思います。

また、会長のごあいさつにもありましたとおり、今日の会議では地域協議会委員の皆さまへ「第二次大仙市学校規模適正化推進計画（素案）」について市の教育委員会から説明がございます。3月28日のさきがけ新聞に掲載となりましたが、素案では将来的に仙北地域、中仙地域、太田地域を統合し、小学校と中学校を同じ敷地に建設する計画となっております。また、この計画に先立って、令和9年度に太田東小学校、太田南小学校、太田北小学校を統合し、統合後の校舎は、太田南小学校を活用するものとしております。

話は変わりまして、太田地域での最近の明るい話題といえば、4月30日にリニューアルオープンした中里温泉の再開と、5月11日に開催された第2回だいせん田園ハーフマラソンではないでしょうか。

中里温泉の利用者数ですが、4月30日から5月18日までの19日間の営業で、延べ7,859人、一日平均ですと413人となっており、大きな盛況ぶりが伺えます。オープン初日は396人、ゴールデンウィーク中の5月4日には、営業再開後で最大となる748人が利用されております。年間の利用者数は10万人を見込んでおり、この調子ですと予想を超える大幅な利用者の増加になるものと、大きな期待をしております。

次に、5月11日に大台スキー場をスタートとして開催された「第2回だいせん田園ハーフマラソン」は、700名近いエントリーがありました。天候は、あいにくの雨模様でしたが、沿道での多くの皆さまの応援もあり、ランナーは自然豊かな田園風景を楽しみながら、駆け巡っていただけたものと感じております。

少し心配される出来事としては、太田地域を含め大仙市内に出没している熊の活動です。5月13日の午後9時前には、中里二十町の富岡歯科周辺に出没しております。市では、注意喚起の広報活動を行うなど警戒を強めております。熊のえさとなるようなものを外に放置しないとか、熊よけの鈴をつけるとか、熊の活動が活発になる夜から早朝の不要不急の外出を控えるなど、熊に遭遇しないよう注意を払ってくださるようお願いします。

ここで、4月の定期人事異動により職員の異動がありましたので、職員の紹介をさせていただきます。

【支所長 職員紹介】

○会長

はい、ありがとうございました。

次に次第の方、4番目になります。「新任委員への委嘱状交付」に移ります。引き続き、田中支所長よりお願ひいたします。

○支所長

それでは、委嘱状の交付に先立ち、今回の改正の経緯について説明させていただきます。

太田南小学校のPTA会長を務めていました藤峰大樹委員より、PTA会長を退いたことから、3月31日をもって辞職する旨の届け出がありました。

このため、4月1日より太田北小学校のPTA会長となる藤澤耕太郎さんに、藤峰前委

員の残任期間をお願いすることとなりました。任期は令和7年4月1日から令和8年3月31日までとなります。

ただいまより、市長に代わって委嘱状を交付させていただきますので、藤澤さんはその場にご起立お願ひいたします。

【藤澤委員へ委嘱状交付】

○会長

藤澤委員、今年度末まで1年間ですけれども、どうぞよろしくお願ひします。

それでは続いて次第の5番目になります。「会議録署名委員の指名」をいたします。会議録署名委員は、高橋英子委員と鈴木美子委員、どうぞよろしくお願ひいたします。

続きまして、次第の6番「報告」に入ります。「令和6年度地域枠予算活用事業の申請状況および最終実績について」、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

【令和6年度の地域枠予算活用事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型【①行政主導型】

1 太田の伝統食継承事業

事業内容：「おやき」などの太田地域の伝統食作りを通して、高齢世代と若年世代の世代間交流を図る。

事業団体：太田支所地域活性化推進室

申請額：38,000円

決算額：32,744円

2 エディブルフラワー活用事業

事業内容：「花のまち太田」の新たな取り組みとして「食べて楽しむ花」の可能性に着目し、地域住民に身近な食材として広めるための事業を行う。

事業団体：太田支所地域活性化推進室

申請額：280,000円

決算額：269,743円

・実施類型【②市民協働型】

3 令和6年度花いっぱい運動支援事業

事業内容：「花のまち太田」として花のまちづくりを推進し、太田地域の花育活動（花を教材に生命や個性について考える活動）を進める。

事業団体：おおた花の会

申請額：1,136,000円

決算額：1, 135, 589円

・実施類型【③市民主導型】

4 おおたひがし地域いきいき事業

事業内容：子どもたちが地域住民と一緒に花だんづくり作業などを行う「おおたひがし地域花いっぱい活動」や、地域出身の著名人を招いて開催する「おおたひがし地域いきいき講演会」といった事業を行う。

事業団体：おおたひがし地域づくり推進委員会

申請額：300, 000円

決算額：300, 000円

・合計

類型	件数	申請額(円)	決算額(円)
①行政主導型	4	541, 665	526, 152
②市民協働型	4	2, 104, 000	1, 929, 015
③市民主導型	7	1, 406, 938	1, 214, 420
④イベント応援型	1	798, 000	775, 662
合計	16	4, 850, 603	4, 445, 249
対予算比率(%)		80. 11	73. 41

○会長

はい、ありがとうございました。ただいま事務局から報告がありました。皆様からご質問などありましたらお願ひいたします。

(特になし)

それでは、ないようですので、質疑応答を一旦終わりたいと思います。

地域協議会は、市が交付決定した市民協働型、市民主導型、地域イベント応援型の地域枠予算事業について、報告された内容によっては、意見を附すこととなっております。今回は市民協働型1件、市民主導型1件の報告がありましたが、申請団体に対して改善を求める点などのご意見はございませんか。

(特になし)

それではないようですので、これで次第6「報告」の（1）を終わります。

次に、次第の（2）「令和7年度地域枠予算活用事業の申請状況について」、事務局から報告をお願いいたします。

○事務局

【令和7年度の地域枠予算活用事業について、配布資料に基づき説明】

・実施類型【②市民協働型】

1 令和7年度花いっぱい運動支援事業

事業内容：「花のまちおおた」として花のまちづくりを推進し、太田地域の花育活動
(花を教材に生命や個性について考える活動) を進める。

事業団体：おおた花の会

申請額：1, 143, 000円

・合計

類型	件数	申請額(円)	決算額(円)
①行政主導型	0	0	0
②市民協働型	1	1, 143, 000	0
③市民主導型	0	0	0
④イベント応援型	0	0	0
合計	1	1, 143, 000	0

対予算比率(%) 23.61 0.00

○会長

はい、ありがとうございました。

ただいま事務局から報告がありました。皆様からご意見やご質問などありましたらお願
いいたします。

はい佐藤委員、お願いします。

○佐藤隆康委員（以下「佐藤委員」と表記）

今年の予算額が484万円となっていますが、これは実績によるものなんでしょうか。
去年よりかなり減っています。

○事務局

令和7年度の地域枠予算につきましては、昨年度ご相談いただいた分につきまして、予
算の方に反映させたものになっておりますので、前年度よりも相談件数が少なかったとい
うこともあります。それから、去年は「黄桜まつり」など地域枠予算で開催していた事業
を、市の事業の方に移したという事情もありまして、予算が昨年度よりも少し少なくなっ
ているという状況です。

○会長

今の説明のところで、私もちよっとお聞きしたいんですけども、元々地域枠予算の中で

事業を行っていたものが、別の予算に移ったのでその分がなくなったというのはわかりました。ただ、地域枠予算を組んでいくときに、元になる何かしらの情報を事前に出さないといけないのか、要するに、予算がある中で自分たちは地域で使えるものがあつたら有効に使っていこうということだと思うんですけれども、十分に告知もできてないし、知らないでいるっていうこともあると思うんですね。そんな中で、「こういうふうに使えるよ」ということを、どんどん自分たちも情報発信していかなければならないと思うんですが、もう予算が最初からないっていう話になると、全然動けないと思うので、どうしたらもっと地域枠の予算を使えるようになっていくのかなと。

いつ情報を出したらいいいのか、例年やっていることだったらそれでっていうことはできるかもしれないんですけども、何かやってみたいとなつたら、とりあえず市に相談っていうのは一つだと思うんですが。予算がだんだん少なくて寂しい気がするので、申請が少なかつたときおっしゃったので、どういうふうにして決まっていくのかなと思いまして。

○事務局

基本的に、11月ごろの予算要求の時期までには、大体来年度の事業について固めて、予算を取るんですけども、それとは別に随時、例えば「こういった事業をやってみたい」というご相談などがありましたら、その年度内には無理かもしれないんですけども、その次の年度の予算にも反映させたいと思いますので、委員の皆様もそういった声を聞きましたら随時相談してくださるようお願いします。

○会長

そうしますと、タイミング次第なんでしょうけど、例えば年度初めにこういう相談があったらそれはできる場合もあるし、そうでなければ次年度の予算になるようにやっていくという形ですね。

○事務局

年度内でも、例えば緊急の場合はできる可能性もありますので、まず相談をしていただければと思いますので、よろしくお願ひします。

○会長

私も委員になって最初にこの会議に参加させていただいた頃からすると、予算が寂しい感じになってきているんですけども、できれば有効に使えるように自分たちの方でも情報発信したりしていくことが私達の仕事の一つかなと思います。

ただいまお聞きしたように、地域枠予算で行われている事業に関連するような、類似するような事業を計画している場合などであれば使えると思いますので、皆様からもいろいろと関わり合いを持っていただきたいと思います。

ということですが、今回市民協働型1件の申請報告がありましたけれども、申請団体に

対して改善を求める点などのご意見はありますでしょうか。

(特になし)

それではないようですので、これで次第の6番「報告」を終わります。

それでは、次第の7番の方に入っていくんですが、ここで一旦休憩を取らせていただきたいと思います。

およそ5分くらい休憩をいたしたいと思います。よろしくお願ひいたします。

(午前10時32分 休憩)

(午前10時37分 再開)

○会長

それでは次第7番「説明」の方に入ります。「第二次大仙市学校規模適正化推進計画（素案）」について教育委員会事務局教育総務課から説明があります。よろしくお願ひいたします。

○小松次長兼教育総務課長（以下「小松課長」と表記）

大仙市教育委員会教育総務課長の小松と申します。本日は貴重なお時間をいただきありがとうございます。いただいたお時間の中で現在市が行っています、学校再編の取り組みについてご説明をさせていただきます。

説明の前に、当課の職員をご紹介させていただきます。

(職員紹介)

秋田県は人口減少率および高齢化率が全国第1位となっております。この要因の一つといたしまして若い世代の流出、そしてこれに関連した子どもの数の減少が挙げられますが、これは大仙市においても同様に見ることができます。

皆さんのお手元に配付しております資料をご覧いただければと思います。ここ太田地域においては、平成22年生まれの現在の中学校3年生が40人。そして昨年度、令和6年度生まれが13人となっておりまして、27人の差があります。これはほぼ3分の1になっているということになります。この14年で子どもの数は大きく減少しているということがわかります。

このような急激に進む少子化に加え、学校施設の老朽化も喫緊の課題となっております。後ほど資料にも出てきますが、太田中学校は市内で最も古い、昭和38年の建築で、築62年ということになります。

そのため、これまで私どもは、市内小中学校の再編について検討を行ってまいりました。この後ご説明いたします計画の素案は、大仙市全体の計画と、個別計画として東部地域について示したものとなっております。また来月には東部の各地域におきまして、子ども園の保護者を含む住民説明会を開催する予定としており、広く意見、要望を伺いたいと考えております。

皆様からも、本日のこの時間で感じたご意見、ご感想をお聞かせいただき、今後の説明会で活かしていければと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。以上、私からのあいさつとさせていただきます。

○教育総務課 佐々木顕彦副主幹

【資料に基づき説明】

○会長

はい、ありがとうございました。ただいまご説明いただきました内容について、皆様からご意見、ご質問などを伺いたいと思います。

いかがでしょうか。

○佐藤委員

子どもの減少ということでしたけど、例えば中学校に入学する機会に、他の地域から大曲の中学校に進学する生徒ってかなりいるものなんでしょうか。そうすれば子どもの人数の推移とは変わってくると思うんですが。逆に大曲から太田地域に来るということもありますが、そういう生徒っていうのは実際にいるものですか。

○小松課長

詳しい数字はちょっと今持ち合わせておりませんけれども、実際に太田から大曲っていうのはあんまり数としては聞いてはいません。やっぱり東部地域の中では仙北の高梨とかの子どもは大曲に行くという人も多いような状況です。多いといっても毎年2～3人ぐらいだったような気がしますが、そういったこともありますので、今ご説明した資料の中では、「学区再編」という言葉をのせています。

ただ、地域を越えた中学校の入学も、その新たに建てる中学校の場所によって、やはりだいぶ大きく変わることになるかと思いますので、今後慎重な各地域での協議も踏まえて、その中で学区をどういうふうにしていくかということにも、考え方を進めていくことになると考えています。

○佐藤委員

再編したら学校と学校がすぐ近くにできてしまったら、それもどうかなっていうことになってしまいますし、その辺どうかお願いします。

それから横手とか湯沢とか協和にも再編した学校がありますが、そこの地区において、

先生の気持ちというか、教育の仕方や子どもたちの教わり方とかについて影響が出たというものはありますか。

○小松課長

教育の中身という部分では、なかなか私どもの方には具体的な状況がちょっと聞こえて来ない部分があるので、お答えできなくて申し訳ないんですけども、やはり子どもの数が増えるということは、それだけ先生の数もその学校の中で増えるということになります。ということは、いろんな先生から教わる機会が出てくるということで、子どもたちとの関わりも広く大きくなることに加えて、いろんな先生との関わりも増えてくるということが挙げられているということは聞きますので、やっぱりいろんなメリット・デメリットというのはあると思うんですが、人数が多くなることの人間関係的なメリットというのは非常に大きくなるのかなと思っているところです。

○佐藤委員

その辺もちょっと聞いてみたいと思っていたので、どうもありがとうございます。

○会長

はい、ありがとうございました。他の皆さんも、ぜひご意見をいただければと思います。

○藤澤耕太郎委員（以下「藤澤委員」と表記）

藤澤と申します。

今の段階ではあくまでも素案スケジュールだと思うんですけども、太田の統合後的小学校について、今現在は太田南小校舎となってますけども、この理由を聞きたいんですが。建築年月日だけでいくと、太田北小学校かなと思ってますけども、こここのところはどういうお考えなんでしょうか。自分が太田北小P T Aだからってわけじゃないんですけど、お願いします。

○小松課長

いずれ小学校3つが一緒になるということは、スクールバスという話が説明の中で出でますけれども、足のことも考えなきやいけないというところもあります。太田南小学校ということになれば、やはり太田の中でも、周りにいろんなものがあるとか、支所が近いとか、そういう意味合いもあり案としてまず挙げさせていただいたということです。そういう利便性的なことも含めて、太田南小学校ということで挙げたということでありますので、まずは今後地域の中でいろんな話を揉んでもらう中で、その辺りもいろんな意見を頂戴できればなというふうに考えているところです。

○会長

いかがでしょうか。

○藤澤委員

はい。

○会長

すいません、私の方から一つよろしいでしょうか。いただいた資料の中では、東部地域の素案を示していただきましたけど、大仙市としては東部・西部・中央という3つの体制ということですが、他の地域でも今東部で示していただいたような内容とかスケジュールで進めていこうという計画なんでしょうか。

○小松課長

まず東部地域を行う、続いて大曲地域を行うという順番を先ほどお話しさせていただきました。大曲地域においてもやはり少子化・老朽化というのは顕著に見込まれます。東部地域を、今回まず優先的に行うということが、次に進んでいく大曲地域・西部地域においてのモデルケースというふうになるのではと考えてるところもあります。

ですので、この東部地域を進めていくにあたっても色々な課題が出てくると思いますが、この課題についても、消化しながら、クリアしながら次の大曲地域・西部地域にも活かしていきたいと思いますので、この東部地域はやはり非常に手探りなところから始まる部分があるので、非常に大変な作業になるかと思うんですが、いろんな方々からのご意見、お手伝いをいただきながら、次に繋げる場所ということで、進めていきたいと思っているところです。

○会長

説明の中に出ていたかもしれないんですが、最終的には東部地域には小学校1つ、中学校1つを新設するという素案ですけれども、大曲地域も同じように小学校1つ、中学校1つを同じ敷地に新設、西部地域もそういう形の素案ということなんでしょうか。

大仙市全体でそういう風に動いてる中の東部地域っていうことなのか、他はまた色々あるのかっていうところをちょっとお聞きしたい。

○小松課長

大曲地域については、やはりこのアンケートを実施するということが大事だと思います。住民の方々がどういうふうに考えてるのかということは、一番大事にしないといけない部分ですので、大曲に全体で小学校1つ、中学校1つになるかどうかということは、現状ではまだそこまで具体的には考えていないので、進める中でいろんなご意見をお聞きして、そこは検討していくことになっていくかと思います。

○会長

そうすると、大曲地域で言えばこれから話だけれども、アンケートを実施して、それ

を踏まえて小学校が1つなのか2つなのか、新校舎にするのかしないのかというところも含めて、考えていくということでしょうか。

○小松課長

具体的に今年度から東部地域を進めていくということで、大曲地域についても着手していくというお話をしましたが、いろんなデータや今後の人口推計など、まずは今後進めるにあたっての参考となる数値などを揃えていきたいと思いますので、まずそこが着手ということで考えています。

○会長

はい、ありがとうございました。

皆様よろしいでしょうか。

(特になし)

はい、それではないようですので質疑を終わりたいと思います。

これをもちまして、次第7番「説明」の方の項目を終わりたいと思います。教育総務課の皆様はここで退席となります。ありがとうございました。

(教育総務課 退席)

それでは、次第の8番「その他」の項目でございます。

全体を通して、何かご意見やご質問などありましたら、お願ひします。

はい、高橋さん。

○高橋英子委員（以下「高橋委員」と表記）

以前の地域協議会の時に言ったんですが、うちの方の道路にゴミを捨てていく人がいるっていう件なんですが、市役所の方で看板を立ててくれまして、私の畠のところに捨てていく人がいなくなったので大変よかったです。ありがとうございました。

○会長

すみません、ちなみにどういう看板ですか。

○高橋委員

黄色くて「ゴミを捨てないで」という目立つ看板です。子どもたちも通るので。

○会長

はい、ありがとうございました。

○佐藤委員

以前から地域の活性化事業ということで、地域のにぎわいのためにぜひ予算をつていう話をさせてもらっていましたが、お祭りなどを開催する時に準備金みたいな形で出せないのかなと思いました。例えば、私たちの地域のお祭りももう存続どうのこうのという話になってしまっていて、少しでも予算を残したいと思っているんですが、お祭りでは必ず花火をあげますよね。花火に力を入れていることですし、お祭りをやったところに花火の予算をあげますよとか、なんかそういうものの提供っていうことも考えられるかなと思ってお話をさせていただきました。

○会長

いかがでしょうか。

○佐藤委員

例えばお祭りをやるところに、花火の2発提供しますよとか。

○支所長

地元のイベントで花火をあげるときに何か補助がないでしょうかというご質問だと思いますので、ちょっと私の知る限りでは対象となるものがないと思うんですけれども、関係部署に確認してみたいと思います。ただ、花火だけをあげるっていうのは多分難しいのかなと思うので、何かのイベントとかですね、例えばちょうど学校が閉校するので、それに合わせた特殊なイベントでしたら、もしかしたら可能性はあるかもしれないんですけども、今のご質問は毎年のお祭りって話なんですよね。

○佐藤委員

お祭りをやるときに、花火屋さんに花火を上げてくださいってお願いしますよね。お金はかかるけども、その経費の分を、例えばそのイベントに大仙市の方で補助しますよというようなのがあれば、ありがたいなっていう話です。

○支所長

すみません。その話となると、花火の推進という話になると思いますので、花火産業推進課の方に相談します。期待に応えた回答できるかわからないんですけども、持ち帰つてちょっと協議させてください。

○佐藤委員

大仙市は花火の街ということで力をいれていますので、そのようにしていただければなと思いました。

○会長

ありがとうございました。やっぱり「こういうことができないか」っていうアイディアを出していただくところが出発点で、どういう形になるかは別にしても、「地域のためにこういうことができたら」ということを今言ってもらいましたので、皆さんからもぜひいろんなご意見やアイディアを出していただければという風に思います。支所長さんの方にはちょっと宿題になってしましましたけれども、よろしくお願ひしたいと思います。

それでは、よろしいでしょうか。

○支所長

すみません、ちょっとお知らせです。今度の日曜日、5月25日なんですかけれども、雄物川の総合水防演習が開催されます。大仙市では久しぶりに行われるということで、東北最大級のイベントとなっております。開会は9時で、大曲の花火公園で開催されますので、ぜひ越しいただければと思います。

それから、5月26日ですけども「法隆寺と大仙市」と題しまして、中仙の市民会館ドンパルで法隆寺住職の古谷正覚さんを講師にお招きして、大仙アカデミーを行います。そして5月24日からは太田文化プラザ多目的ホールにおいて、「法隆寺金堂壁画展」を開催します。開館時間は午前10時から午後4時となっておりますので、皆さんぜひご参加ください。

あと、もう一つよろしいでしょうか。今教育総務課の方からお話がありまして、こちらの「第二次大仙市学校規模適正化推進計画(素案)」の概要版の「今後の取り組みについて」にも記載されていますが、7月頃に各地域の検討委員会発足ということで、地域協議会の方から、委員に2名選任いただきたいということでした。

もし立候補される方がいらっしゃればというのと、もしいないとすれば、会長さんともうひとつという形でお願いできればなと思っております。こちらの検討委員会はその学校の関係者の方とPTA会長さんの方々も構成員になるということでしたので、地元のことによく知る方という方でお願いできればということでした。

○会長

その件に関しては、今決めるってことですか。

○支所長

もしこの場で決めることができないといいんですが、今日欠席されている方もいらっしゃいますので、委員会は7月頃開催するということですので、6月の上旬頃までには選任をお願いしたいとのことです。

○会長

強い希望のある方がいれば言っていただきたいと思います。いなければ私の分は行かせてもらいますので。

○支所長

ということであれば、熊谷会長さんどうかよろしくお願ひいたします。あともうひとつ、ぜひ私がっていう方いらっしゃらないでしょうか。

○会長

佐藤さんお願ひできますか。

○佐藤委員

じゃあ一緒に行きます。

○支所長

それでは熊谷会長さんと佐藤副会長にお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

○会長

それでは、最後に事務局の方から何かありますでしょうか。

○事務局

それでは、何点か連絡がありますのでお知らせいたします。

まず、今日皆様の机の上にお配りしております封筒に入った通知なんですけれども、そちらの方が東部地区地域協議会議員合同研修会と交流会の案内になっております。6月23日、月曜日なんですけども、研修会と交流会を行いますのでぜひご参加くださるようお願いします。ちなみに今回は中仙地域が担当となっておりまして、3地域で持ち回りで開催しております。来年度は太田地域が担当になりますので、よろしくお願ひします。

次に資料はないんですけども、以前から実施しております彩色千輪プロジェクト、太田地域では横沢公園を拠点として地域活性化の事業を行うというものなんですけども、そちらの一環として、7月12日に横沢公園でフリーマーケットを開催することになりました。出店者の募集は既に始めておりまして、順調に集まってはいるんですけども、地元の方の出店がほとんどなく、他地域とか他の市の方がほとんどとなっています。地域のイベントですので、ぜひ地元の方で、ご自宅にあるいらなくなつた服とか日用品とか、そういうしたものでも大丈夫ですので、ご出店に興味ある方がいたらぜひお申し込みください。開催については、後ほど市のホームページや広報や地域版広報などで周知しますので、当日7月12日はぜひお越しください。

それから最後なんですけども、こちらも先ほどご説明しましたが地域枠予算で実施しているエディブルフラワー活用事業、食べられるお花のことですけども、今年も事業を行なう予定で、現在太田地域の中でも栽培してくださる農家さんもちらほら出てきております。結構お店などに販売してくださったりしております、需要はそれなりにあるんですけども、生産の方がまだ安定的にできていませんので、小規模でもいいので栽培してくださる

仲間を探している状況です。委員の皆様やお知り合いで、花の栽培に興味ある方がいれば、現在苗を提供できます。ちなみに、今はペンタスやプリムラといったエディブルフラワーがありますのでぜひ、そういう方がいらっしゃいましたらお知らせください。以上です。

○会長

はい、ありがとうございました。それではよろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして本日の会議を終了いたします。長時間にわたりありがとうございました。

(午前11時47分 閉会)

太田地域協議会運営規程第7条第2項の規定により、ここに署名する。

会議録署名委員

高橋 英子

鈴木 美子
